

琉大熱研公開講座

小さな「虫こぶ」から広がる大きな世界

徳田 誠 先生 (佐賀大学農学部)



日時：2024年 5月 22日 (水) 19:00 – 20:00頃

会場：琉大熱研・西表研究施設・講義室

入場無料・事前申し込み不要 (座席数には限りがあります・30席予定)

植物の葉や茎にコブができているのを見たことがありますか？

さまざまな昆虫が、植物に「虫こぶ」をつくって、その中で生活しています。私は、このような虫こぶをつくるタマバエという昆虫を主に研究しています。虫こぶは、昆虫にとって快適なすみかですが、必ずしも安全な場所とは限りません。中には、虫こぶを乗っ取って、「リフォーム」してしまう“泥棒”もいますし、虫こぶに勝手に住み込む“居候 (いそうろう)”もいます。また、タマバエは体長数ミリの小さな昆虫ですが、最近の研究から、昆虫の中で種数が一番多いことが分かって来ました。虫こぶをつくるタマバエに加えて、“母幼虫”が“子幼虫”を産む変わったタマバエや、生態がナゾの“三つ目のタマバエ”など、現在研究している個性的な虫たちや、いま西表島でやろうとしている研究について紹介したいと思います。

問い合わせ先

琉球大学・熱研・西表研究施設事務室

電話：0980-85-6560

公開講座

問い合わせフォーム →

